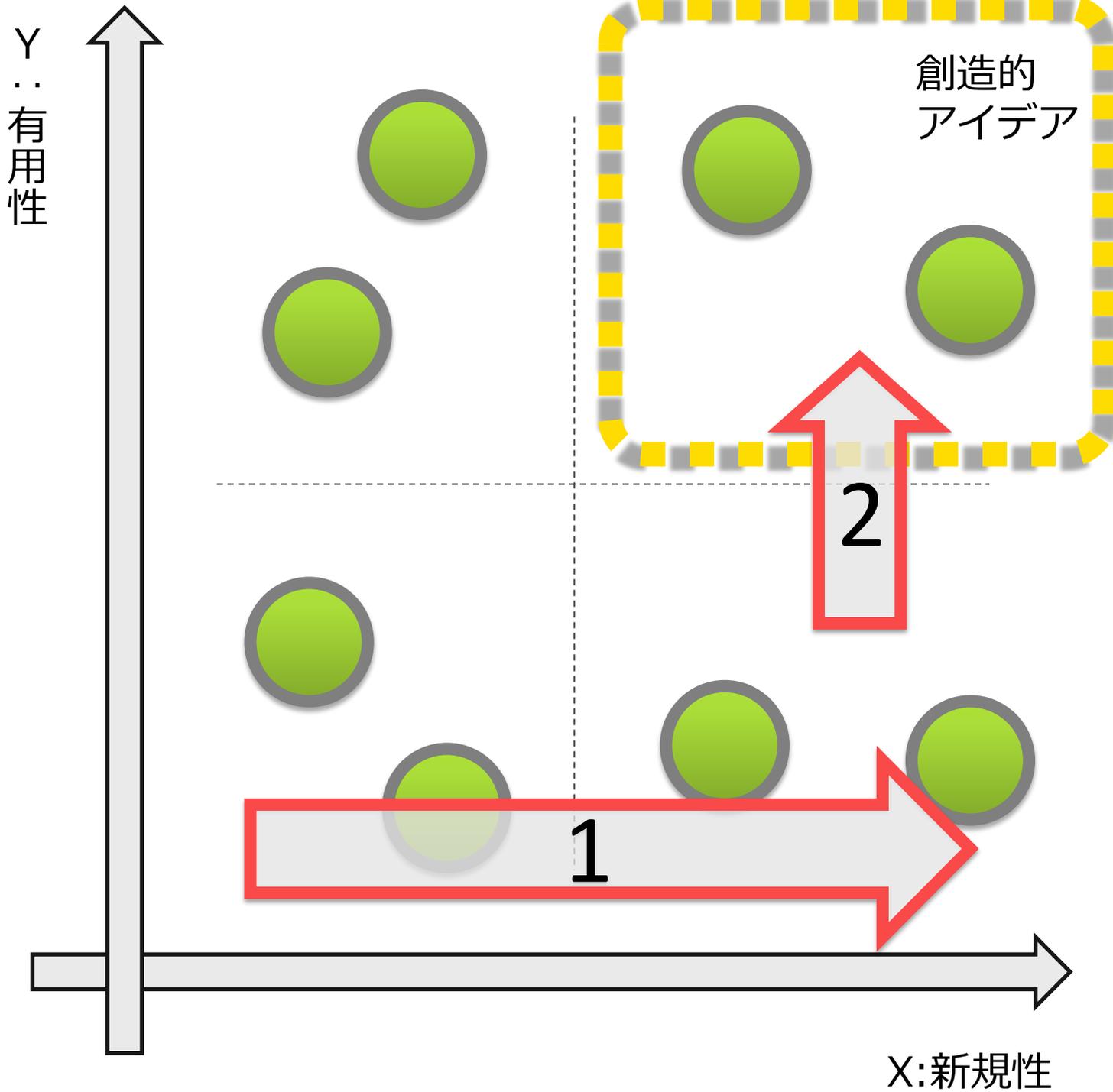


創造的アイデア、

創造的プロダクト、

アイデアの実現性を上げる方法



創造的 = 「新しい有用さ」



創造的アイデア = 「++」のゾーンにあるアイデア

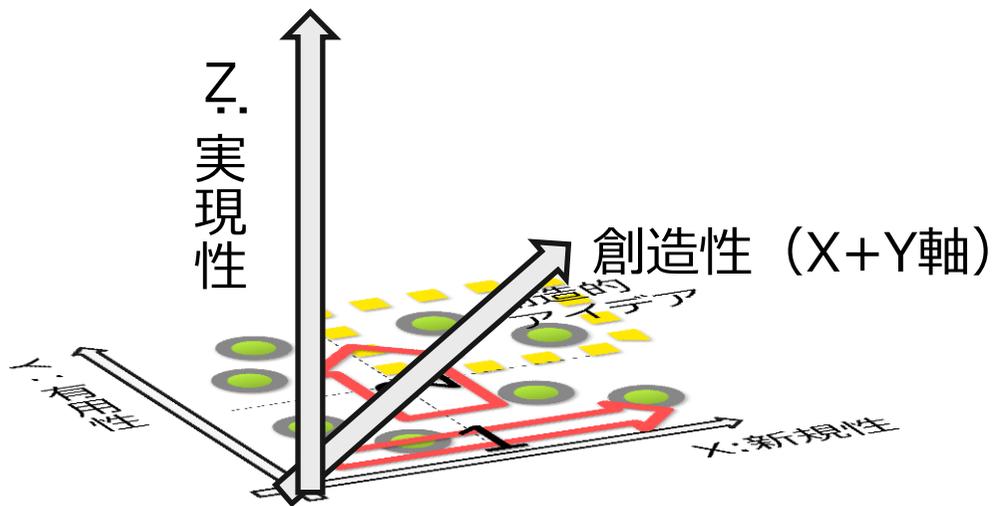
新規性だけがあるアイデアは「どういう意味があるかわからないけれど、こういうのあったら、面白そうだ」というアイデア。

この有用性を引き出してやると右上のゾーンのアイデアになりやすい。

新規性は、突飛なアイデア、インモラルなアイデアに多くある。

ブレインストーミングの際に、判断を遅延すること、突飛さを歓迎することはこの「新規性要素の大量確保」をする点にある。

X: 新規性



## 創造的プロダクト

1. 新規性
2. 有用性 (解決)
3. 実現性 (巧緻性と統合)



## 創造的プロダクト

= 「+++」のゾーン  
にあるアイデア

先の「新規性」「有用性」の軸に加えて、  
実現性軸をZ軸で表示した場合。

XとYを便宜的に統合して、2軸平面にす  
ると左のようになる

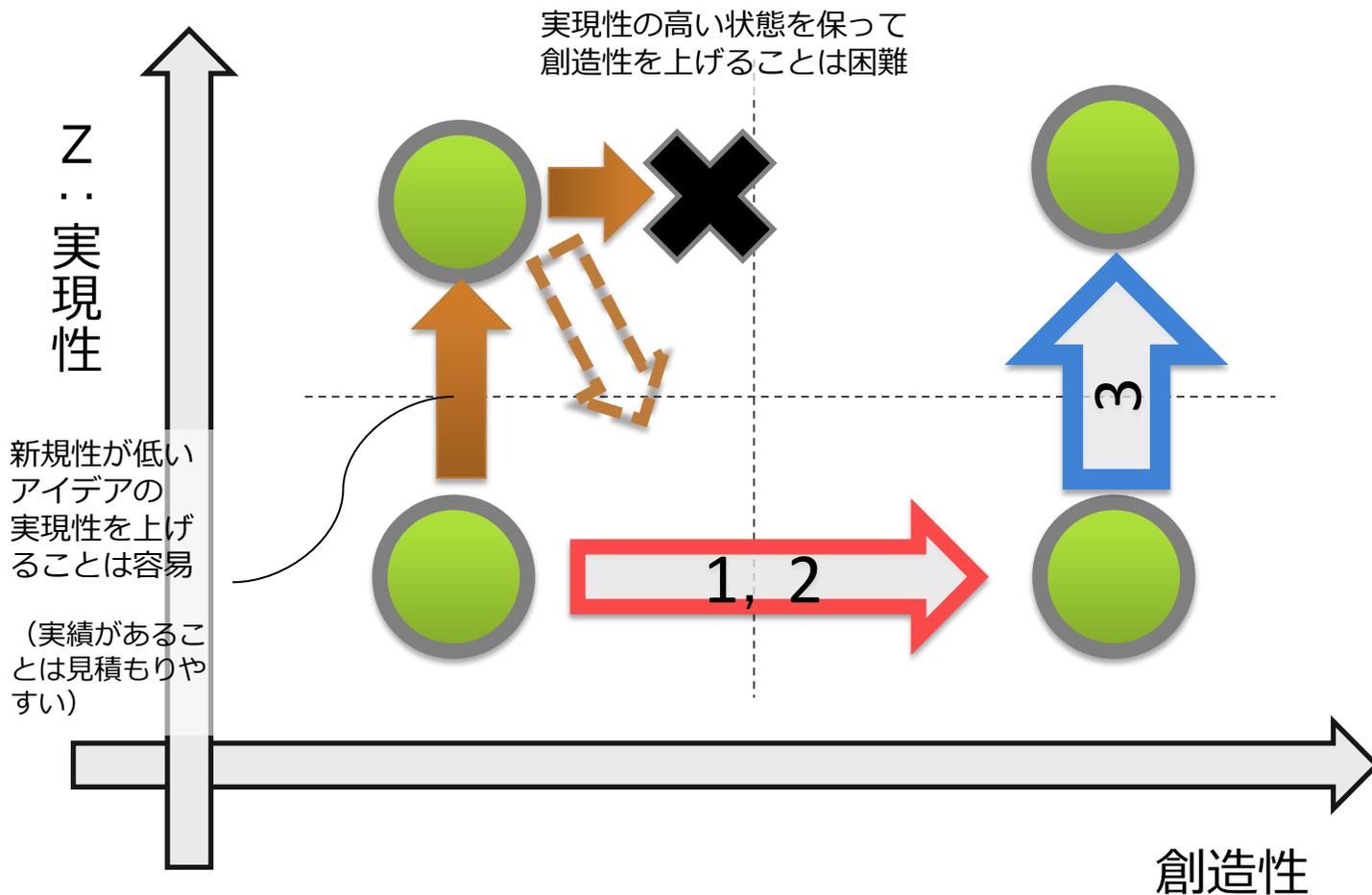
実現性を先に上げ、後から創造性は上げ  
ることはできない。

まず、創造性を上げる。  
「どうやって実現したらいいかわからな  
いアイデア」でよいので、創造的アイデ  
アを捕まえておく。

そのあとに、上にあげていく。

どうやって？

⇒アイデアの実現性を上げるプレスト  
「PPCOプロセス」



(微かな傾向)

新規プロジェクトのアイデアを観察していると

新規性を上げる



有用性を上げる



実現性を上げる

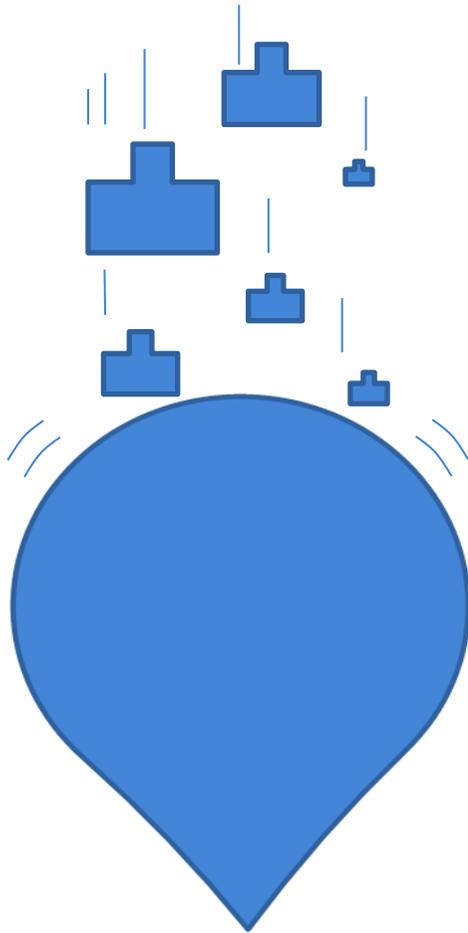
この順番で、アイデアを展開されていく。

我々は今、どのフェーズにいるのか？を見直すと  
ブレストの際に、ウェイトを置くべき要素がわかる。

# アイデアの実現性を上げる方法



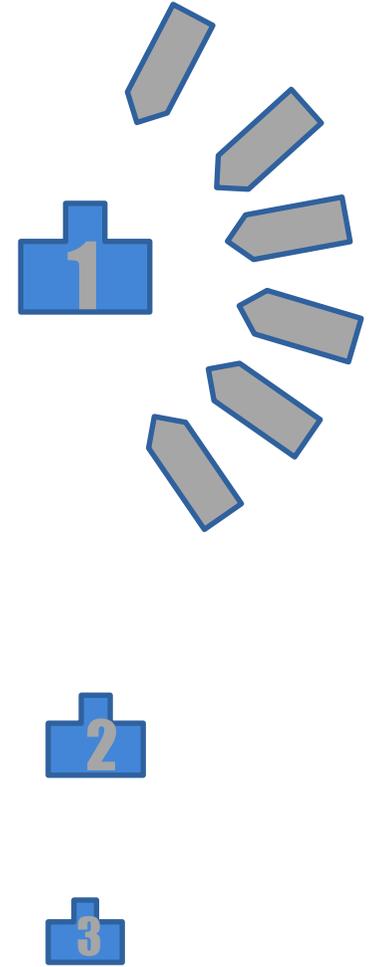
**PP**  
Plus Potential



**C**  
Concern



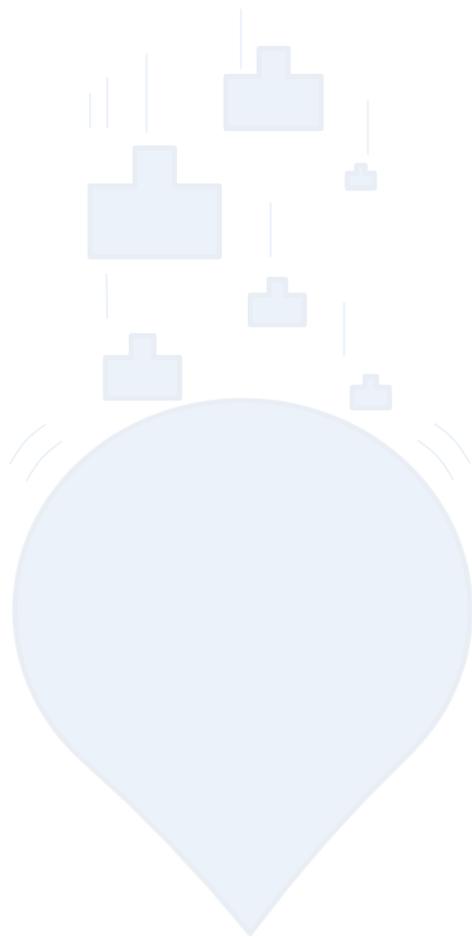
**O**  
Overcome





PP

Plus Potential



C

Concern



O

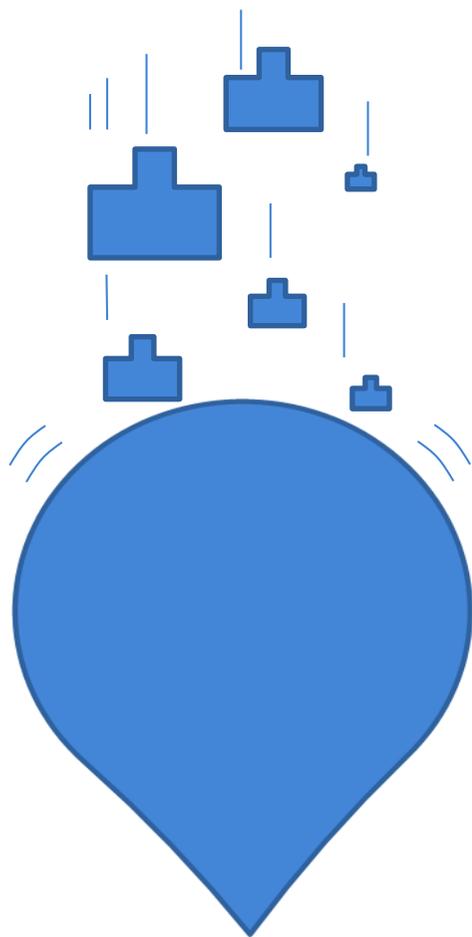
Overcome



1) そのアイデアの良い面、潜在的な可能性を、思いつく限り列挙（褒めるブレスト）



PP  
Plus Potential



C  
Concern



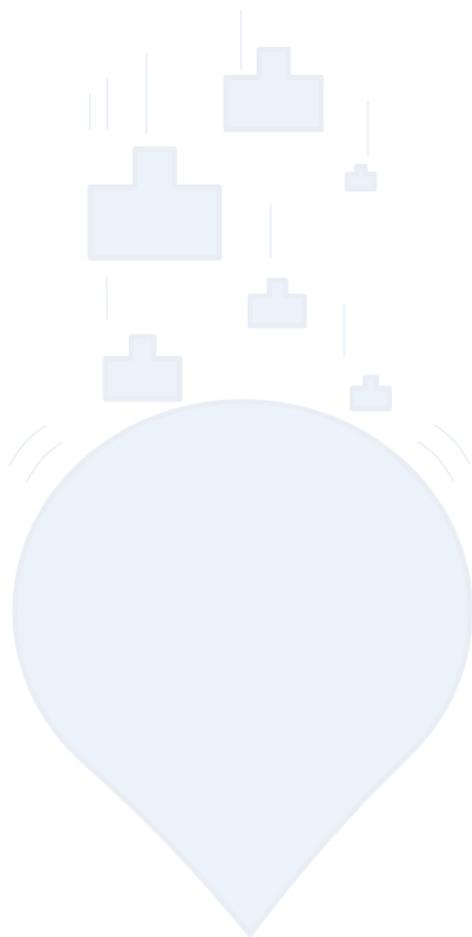
O  
Overcome



2) そのアイデアの懸念事項（心配なところ）を、列挙（≡批判ブレスト）



PP  
Plus Potential



C  
Concern

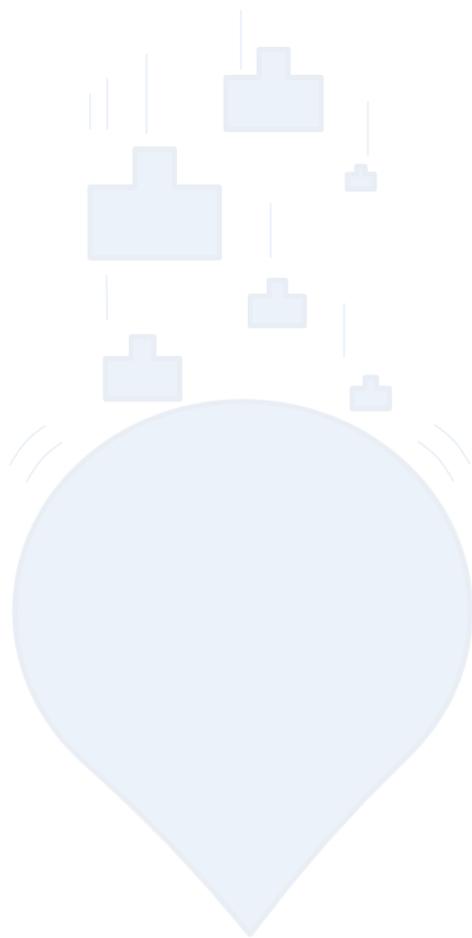


O  
Overcome

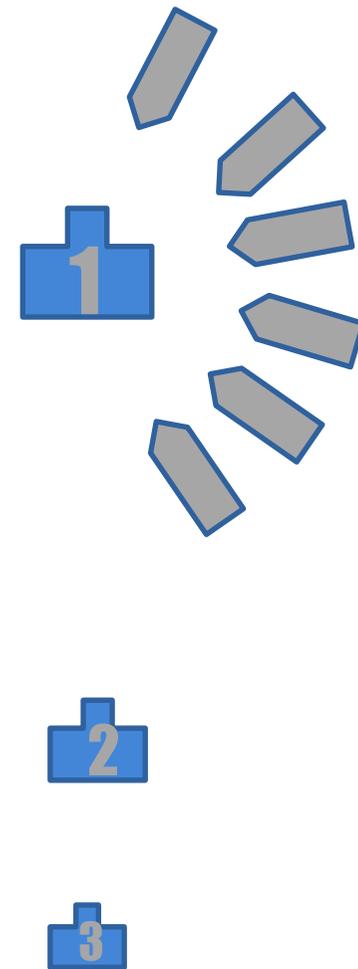
3) 各自が☆を記入（これは重要だ、と思う懸念事項に）。トップ3を決める



PP  
Plus Potential



C  
Concern



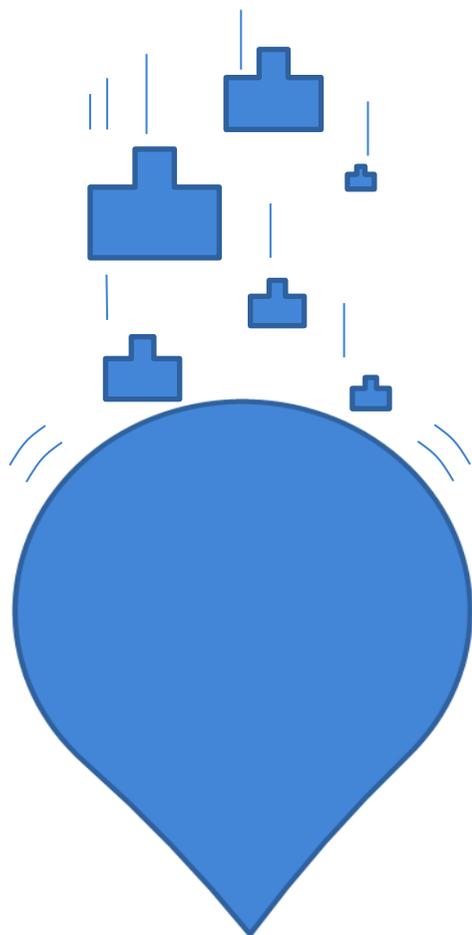
O  
Overcome

4) トップ1の懸念事項をどうしたら克服できるか、対策案をブレスト。その後「2」「3」も



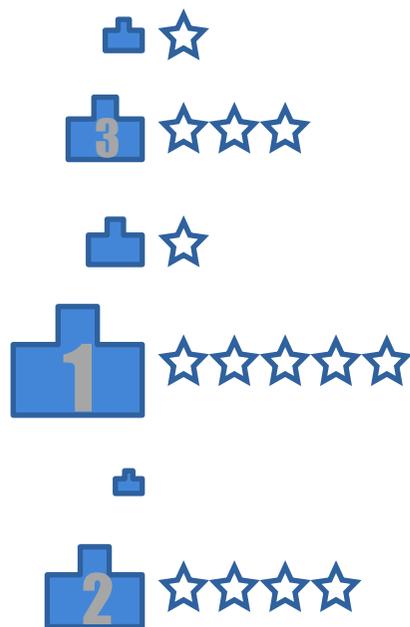
PP

Plus Potential



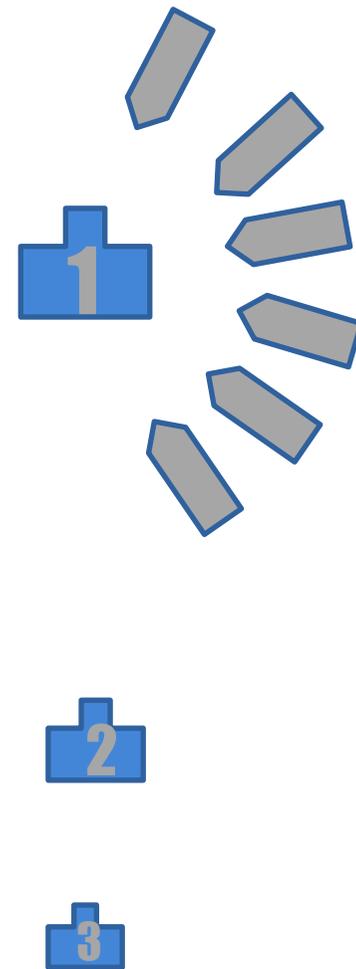
C

Concern



O

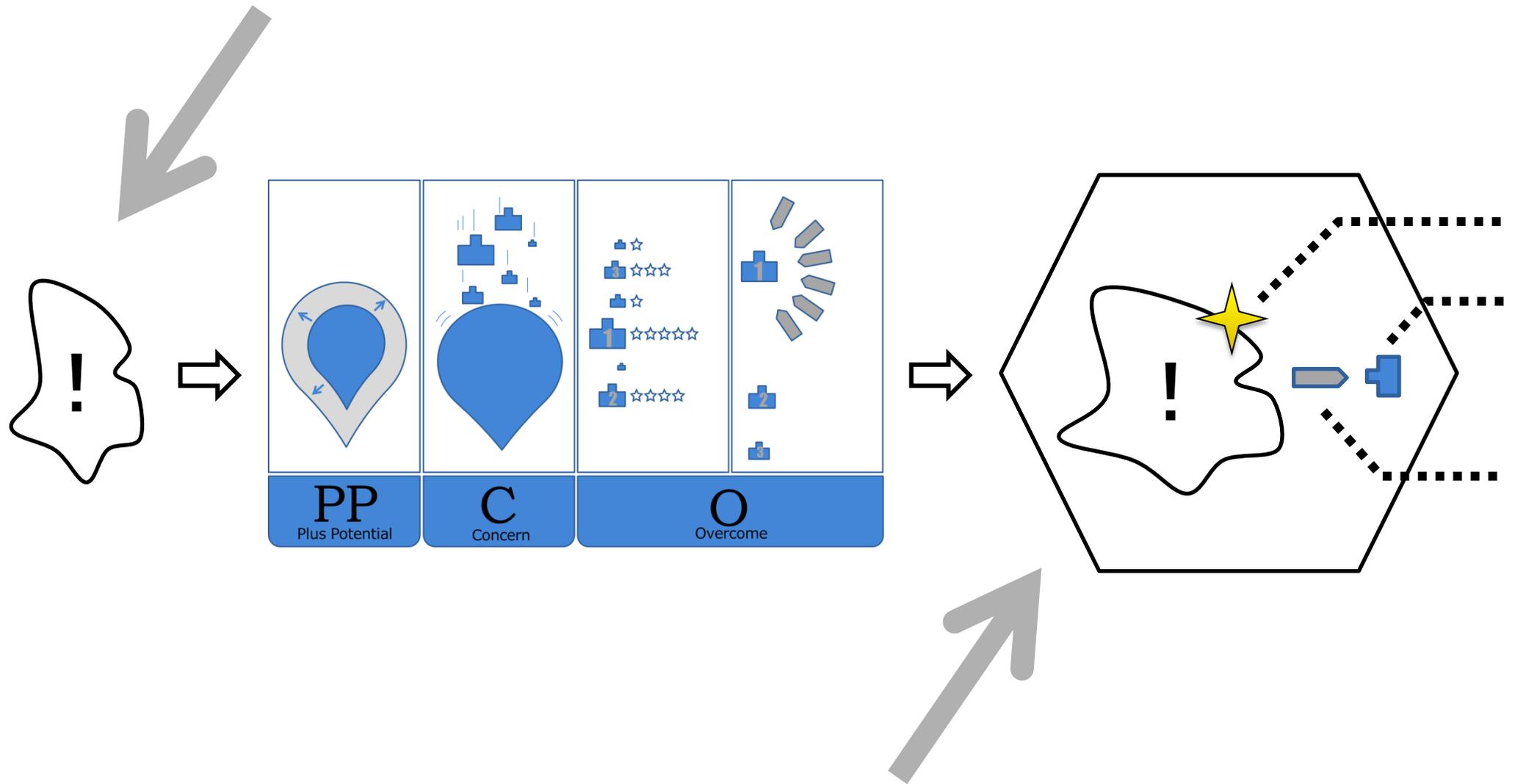
Overcome



PPCOプロセス

こうして得られたアイデアは、

大量の案の中から抽出したトップアイデア  
(創造的ではあるが、実現性については未成熟なアイデア)

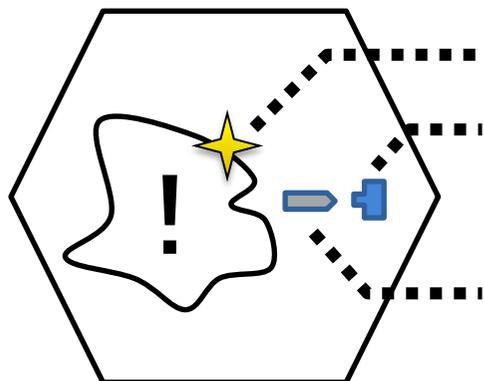


主要な懸念点を明確にし、打ち手が検討されているアイデア  
(創造的かつ、実現性も高いアイデア)

アウトプット（アイデア）を  
報告する時には、こうなります



アイデア会議の結果、  
〇〇というアイデアが  
出ました。



アイデア会議の結果、  
〇〇というアイデアが  
出ました。

特に++という利点があり、  
一方、実施にあたり想定される  
主なリスクとしては××があります。

これへの打ち手としては□□などが  
対策として考えられます。

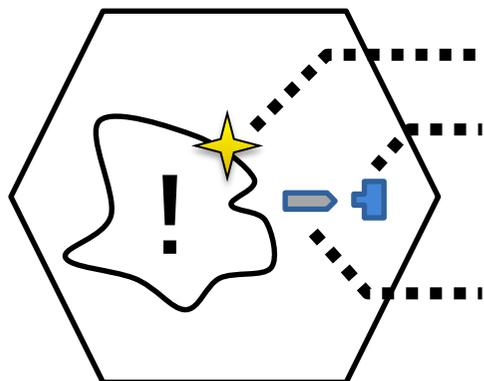




アイデア会議の結果、  
○○というアイデアが  
出ました。

やれるのかな  
(実現可能なの?)

よく分からない  
(追加情報を求む)



アイデア会議の結果、  
○○というアイデアが  
出ました。

特に++という利点があり、  
一方、実施にあたり想定される  
主なリスクとしては××があります。

これへの打ち手としては□□などが  
対策として考えられます。

やろう  
(実際にテストし  
試してみよう)

やめよう  
(なぜなら…だから)



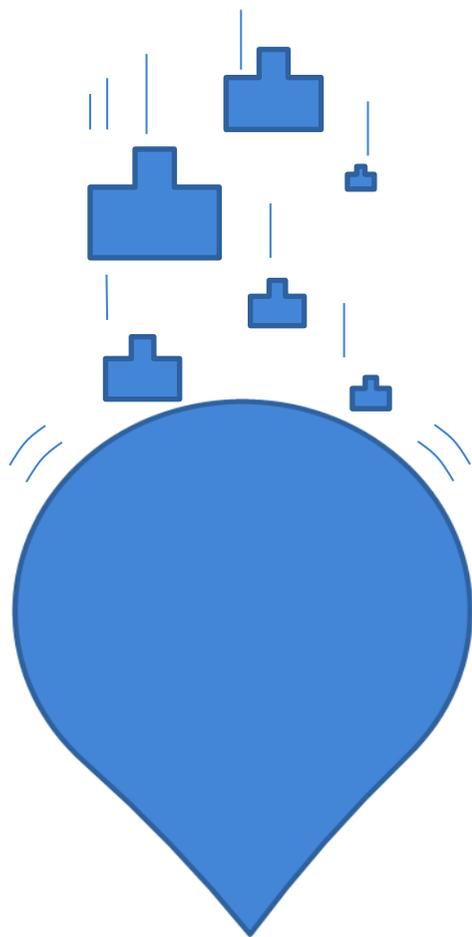
上司や関連部門が、判断をつけやすくなります。

(必ずしも通る、というわけではありませんが、  
「よく分からないので、要検討」という宙ぶらりんの  
状態の案件が、少なくなり、次のフェーズへのGoを  
もらえる確率は増えます。)



PP

Plus Potential



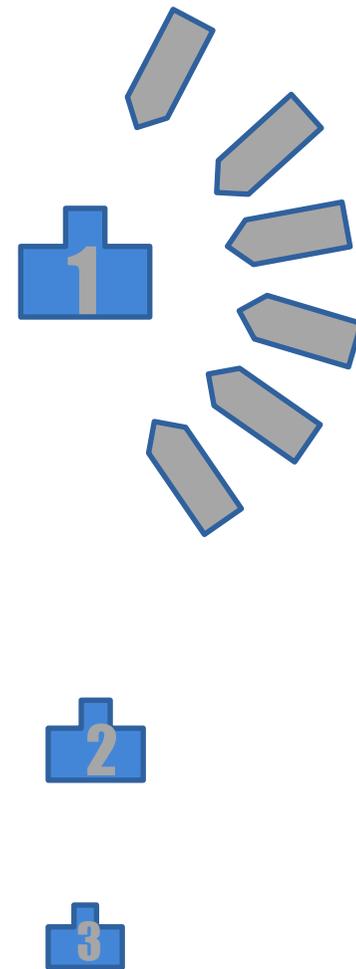
C

Concern

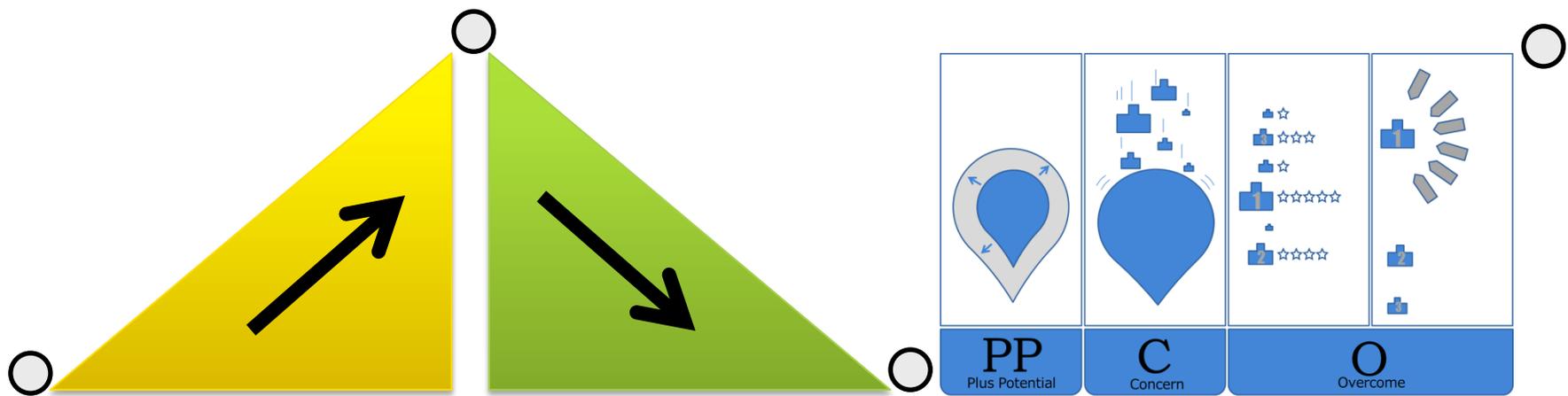


O

Overcome



これを、全体像の中で見ると ⇒



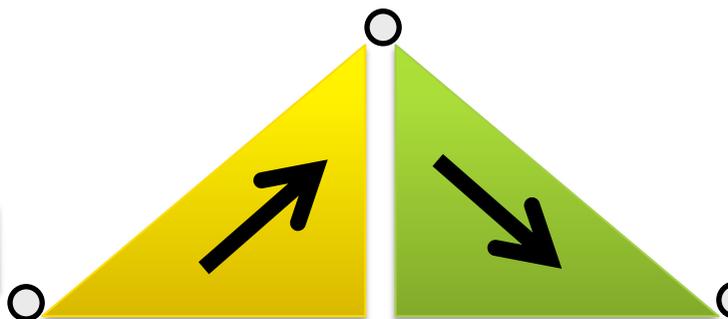
1つの  
発想テーマ

100個の  
アイデア

トップ1の  
アイデア

強化された  
アイデア

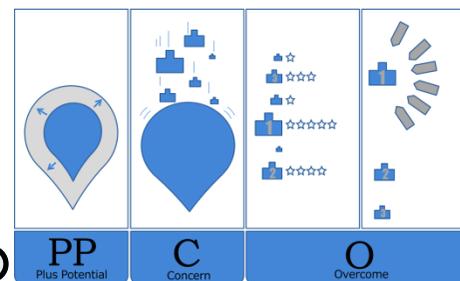
現実の課題  
(複数、曖昧) ○



○  
1つの  
発想テーマ

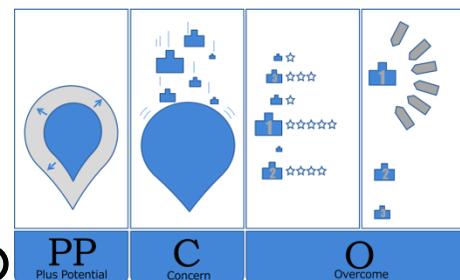
○  
100個の  
アイデア

○  
トップ1の  
アイデア



○  
強化された  
アイデア

現実の課題  
(複数、曖昧)



1つの  
発想テーマ

100個の  
アイデア

トップ1の  
アイデア

強化された  
アイデア

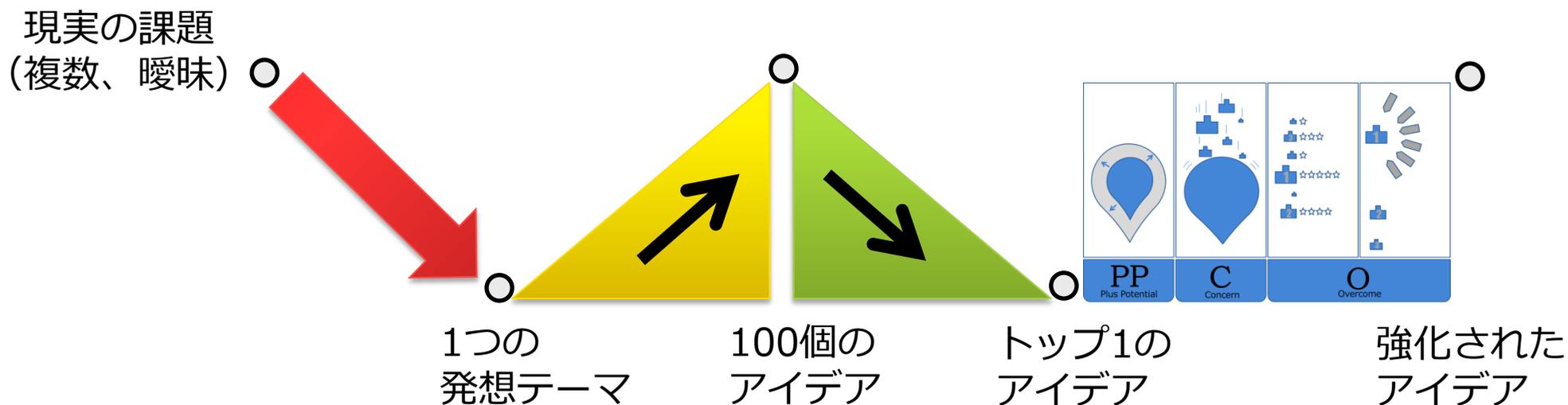
設定

発散

収束

強化

# 優れたアイデアを創出する4フェーズ



設定

発散

収束

強化